



あの暑かった夏はどこえやら。秋を飛び越えもう冬になりそうでしょう。年々春、秋の期間が短くなっているように感じるのは私だけでしょうか。さて、センター試験まで3ヶ月をきりました。「あわてず、あせらず、あきらめず」に頑張りましょう。



## 今月は入倉先生のコラムです

以前、こんな話を読んだ。

「一匹のねずみがいた。ある時、誤って樽（たる）の中に落ちてしまった。ねずみはなんとか外に出ようとしてジャンプしてみたが、ねずみの小さな体では樽の上まで届かない。次に、穴をあけて出ようと考えて樽をかじり始めた。しばらくかじってみたが穴はあかない。そこで、今度は別の場所をかじり始めた。またしばらくかじってみたがやっぱり穴はあかない。それでまた別の場所をかじる。穴はあかない。また別の場所を、と何度か同じことを繰り返した挙げ句、疲れ果てたねずみは、とうとう力尽きて死んでしまった。最初にかじり始めた所をずっとかじっていれば、いつか穴があいて外へ出られたかも知れないのに……。」

週末にはたいてい課題が出される。国語もほぼ毎週出してきた。提出はするけれど、出せば提出点もらえるからと、自分で考えてみようと思わずに、とりあえず答を写して出しておくという人もいたと思う。課題が多すぎると不満に思っていた人もいると思う。でも、毎回まじめに取り組めば、課題をやるだけでも少しずつ力はついてくる。

私の高校時代。今と違って毎週課題が出されるなんてことはなかった。だから、自分で問題集を選び、自分で計画を立ててやる。すべて自分次第。本屋に行ってきたくさん並んだ参考書や問題集をあれこれ見ては、よさそうだなと思ったものを買ってきてやってみる。その後また本屋に行った時に見ると、なんだかこっちの方がよさそうだという気がして別の問題集を買う。そんなことを繰り返し、結局、中途半端に終わってしまった問題集も多かった。

進研ゼミという通信教育を受けてみた。初めの頃は張り切ってやっていた。だけど、だんだん面倒になってきて、課題を提出するのが遅れがちになり、結局途中でやめてしまった。

これだけが理由というわけではないが、第一志望の梨大に落ちた。

壁にぶつかって行き詰まった時や、思うように結果が出ない時には、別の視点から眺めてみたり、違うアプローチの仕方をしてみたりすることも必要だ。だけど、うまくいかないからといって途中であきらめてしまっただけでは、うまくいくものもいなくなってしまう。勉強だけではない。どんなことでもやろうと決めたことは、辛抱して続けることが大事だ。「才能の差は小さいが、努力の差は大きい。継続の差はもっと大きい。」と誰かも言っていた。

## ☆11月の予定

11月行事予定					
日	曜日		日	曜日	
1	金	生活実態調査② ベネッセ駿台マーク模試(3年) 進研模試(2年)	16	土	高大連携講座④(9:30-12:30 @物理講義室)
2	土	進研模試(1年)	17	日	修学旅行(~20)
3	日	文化の日	18	月	三者懇談(1年)
4	月	振替休日 水道工事(終日)午前断水(進修館+体育館)	19	火	
5	火	読書月間(~22)	20	水	県民の日
6	水	進路希望調査(1.2年) 「未来の科学者訪問セミナー」(1年6校時体育館)	21	木	2年生代休(11/17)
7	木	芸文祭グランドステージ&パレード	22	金	「しなやかな心の育成」講演会 @進修館 (3年PM ⑤総合・⑥LHR)
8	金		23	土	勤労感謝の日 土曜講座②
9	土	高大連携講座③(9:30-12:30 @物理講義室)	24	日	センター試験プレテスト(外部会場3年希望者)
10	日	実用英語検定(2次)	25	月	
11	月	きずなの日	26	火	第4回定期試験時間割発表
12	火		27	水	きずなの日
13	水	一斉登校指導②(通学マナーアップ④)7:55集合 授業公開(終日) 進路職業別講演会(1年、5・6校時)	28	木	
14	木		29	金	就職内定者指導会(17:00@小会議室) 自動車免許取得許可(就職内定者)
15	金		30	土	

### 窪田の雑感 「奇跡という必然」

ラグビーW杯が間もなく決勝を迎える。我が日本代表は史上初のベスト8に進出し、我々の心を本当に熱くした。ラグビーというスポーツを少しでも知っているものにとっては、このベスト8進出がどれほどの快挙か、想像を超越するものであっただろう。シロクマ、ヒグマと見まごうような体格の外国人選手を相手に一步も怯まずに戦い続けた日本代表選手たちからは、ひしひしとその大和魂を感じた。

我々はそんな選手達から何を学ぶべきなのだろう。目標達成のために彼らが行ってきたこと、取り組んだ事は何なのか、結果の裏にある要因にしっかりと目を向けるべきである。リーチマイケル主将が、ベスト8進出は偶然でも奇跡でもないという趣旨の会見をしていたことが印象的である。代表選手にはベスト8進出を疑うものは一人もいなかったという。その目標達成に対する絶対的な執念、その土台に裏打ちされた200日にも及ぶ合宿、トレーニング。言葉にすれば簡単だがそれを実践するだけの実行力こそ今回の結果を生んだ一番の要因ではないか。

残り数ヶ月となった高校生活において残された時間は限られている。しかしその限りある時間の中でやれるべき事は沢山ある。目標達成のために全てを出し切って欲しい。

**「努力した者が全て報われるとは限らん。しかし！ 成功した者は皆すべからく努力しておる！！」**

～はじめの一步より～